

流通科学研究科 3つのポリシー(令和4年度以降入学生適用)

【教育目標】

流通科学研究科は、研究指導を中心としながらも、大学院修士課程に対する社会的要請並びに専門家育成に対する流通分野の産業界からの要望に応じて、次代を担う流通科学のプロフェッショナルを育成します。

【ディプロマポリシー】

本研究科は、次の能力を備え、所定の単位を修めた者に修士（流通科学）の学位を授与します。

1. 経営学分野又は商学分野における専門的知識を持ち、高度な研究遂行能力を身に付けている。
2. 社会の状況の変化に対応し、課題解決において指導的活躍ができる。

【カリキュラムポリシー】

本研究科は、ディプロマポリシーに掲げる資質・能力を修得するため、以下の学修方針を定め、教育課程を編成しています。

1. 本学流通科学部の教育研究分野と連動させ「経営学分野」と「商学分野」を配置し、系統的に履修することで各分野の専門的知識を修得する。
2. 基礎科目を「各系共通（基礎科目）」の区分に配置する。
3. 専門科目を「経営学系科目」と「商学系科目」の2つの系統に配置する。
4. 修士論文作成に資する知識及び技能を修得するための「専門演習科目」を配置する。
5. 学修成果については、各授業科目のシラバスに明記した成績評価基準に基づき厳格な成績評価を行う。また、修士論文については、論文審査基準に基づき、主査1名、副査2名により総合的な評価を行う。

【アドミッションポリシー】

本研究科は、次のような資質と能力と意欲を備えている人を受け入れます。

1. 経営学分野又は商学分野に関連する基礎的知識を備えている人
2. 経営学分野又は商学分野に関連する専門的知識と適切な問題解決能力を修得しようとする意欲と探求心を持っている人
3. 発見した課題を思考や調査・分析によって解決し、その結果を論理的に社会に発信できる人

これらの資質・能力を、筆記試験、面接、提出書類により総合的に評価します。